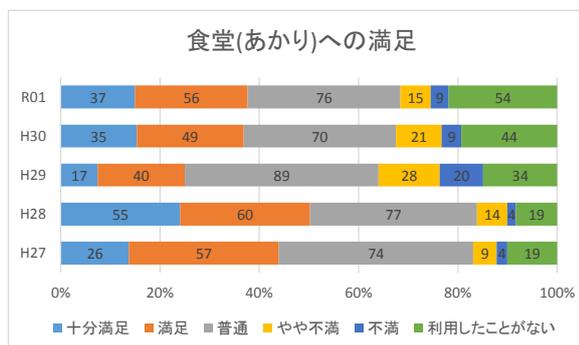
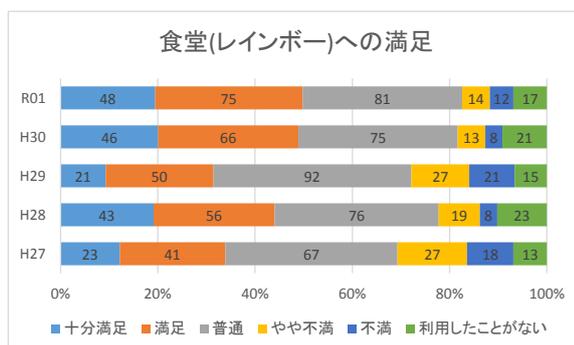
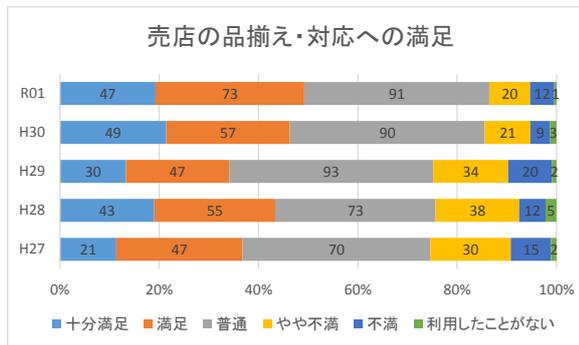
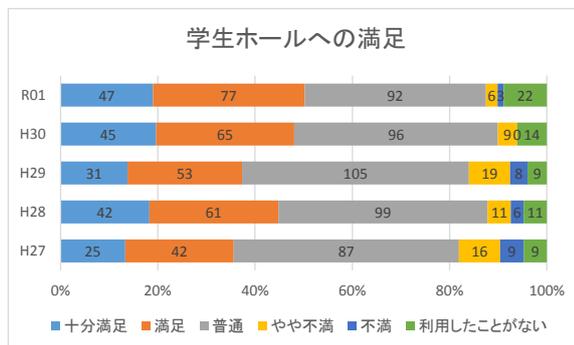
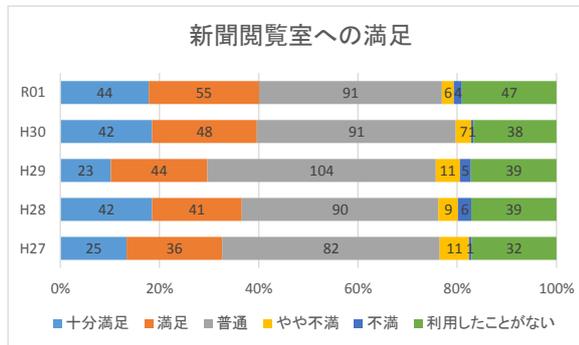
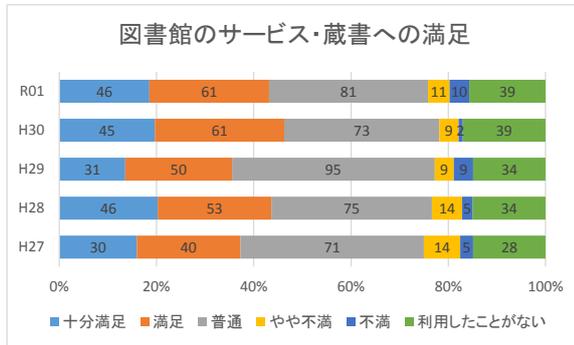
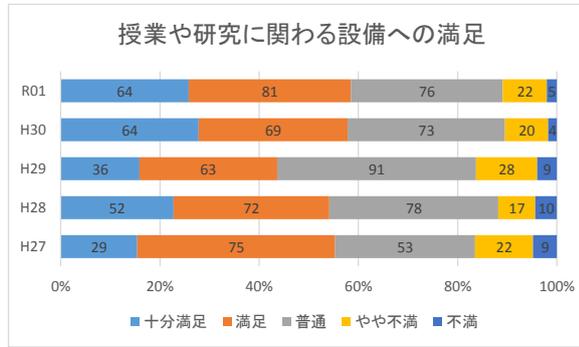
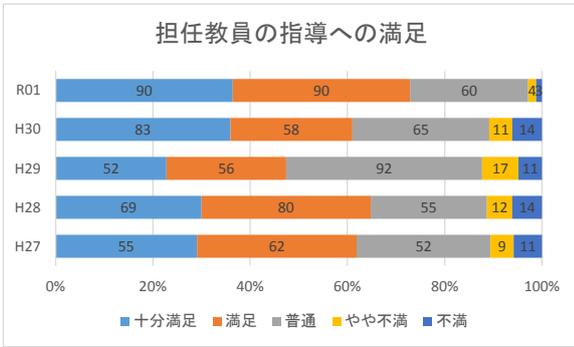
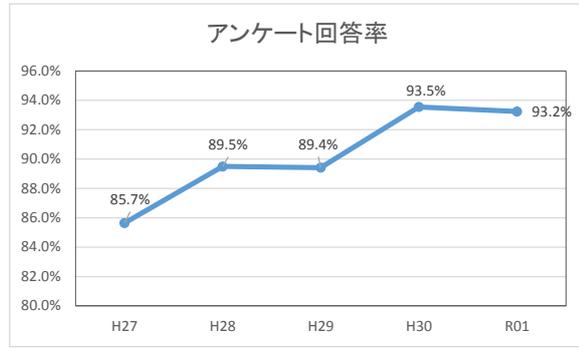


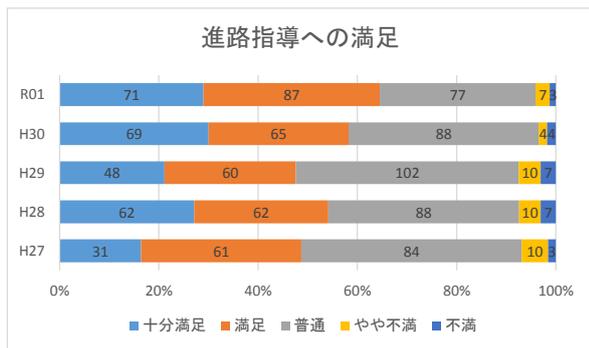
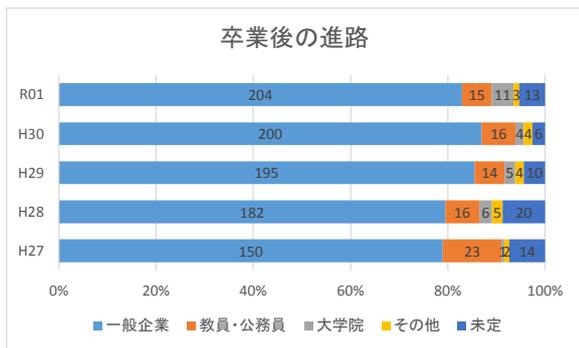
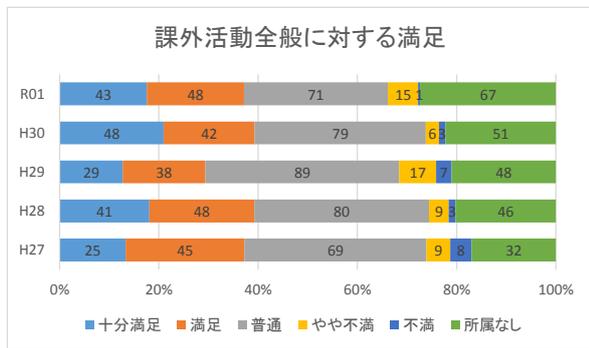
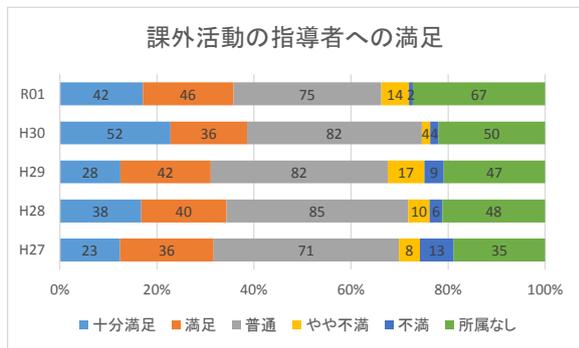
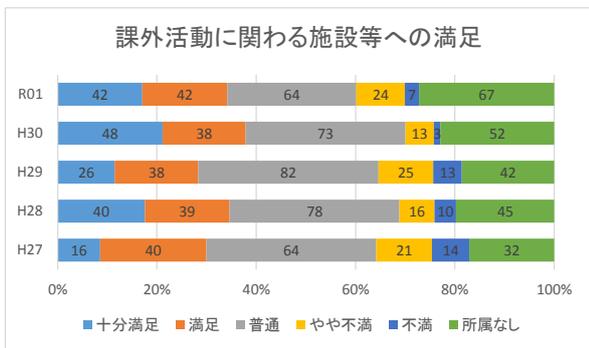
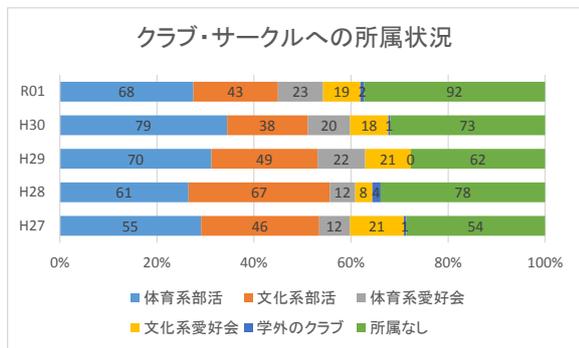
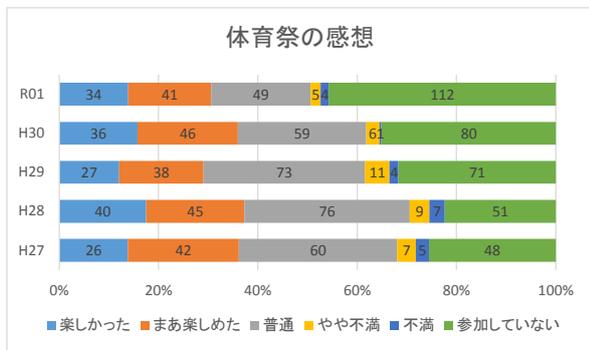
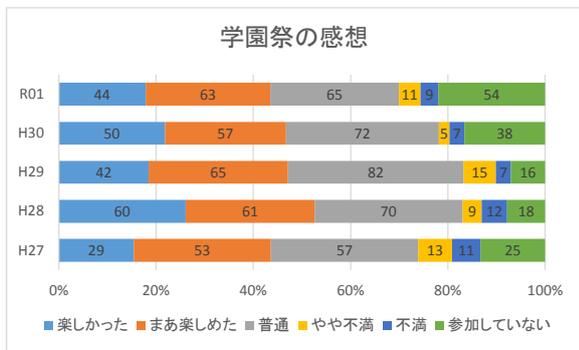
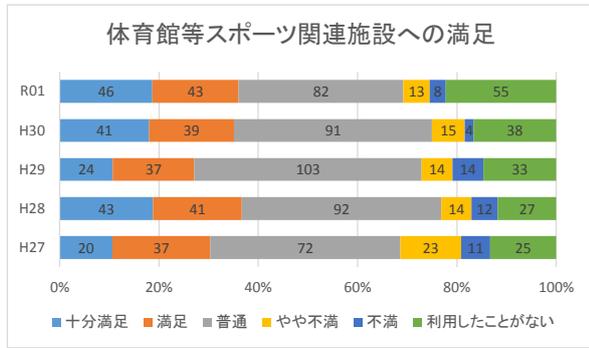
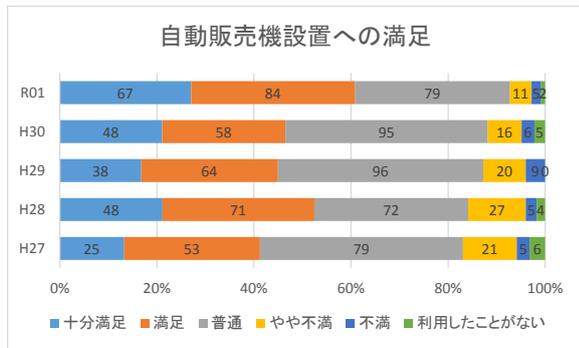
満足度調査アンケート集計結果について

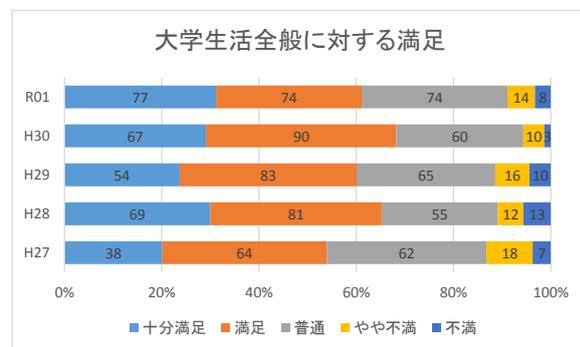
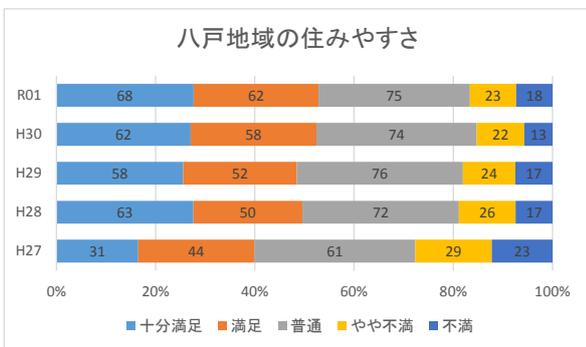
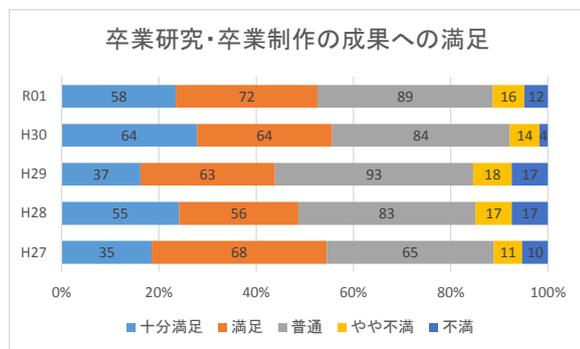
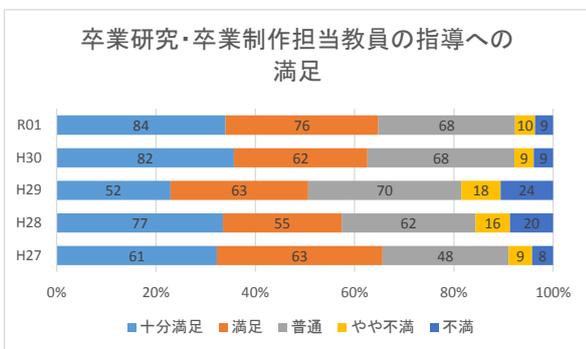
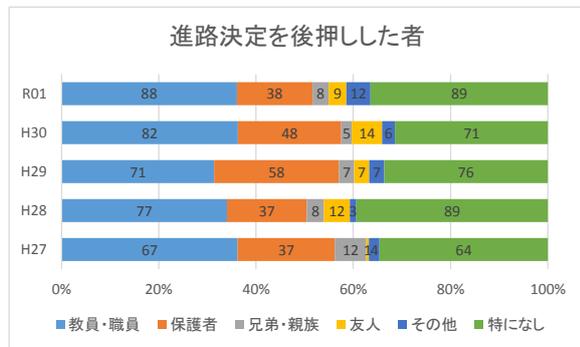
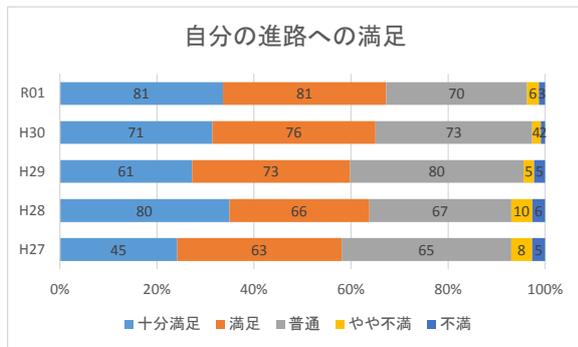
調査期間:各年度とも後期1月中旬～2月末
 調査対象:調査期間中に在籍する全学生
 調査方法:教務システムのアンケート機能を利用し
 WEBアンケートページで回答

【4学年生】

| 年度 | 対象学生数 | 回答者数 | 回答率 |
|-----|-------|------|-------|
| H27 | 223 | 191 | 85.7% |
| H28 | 257 | 230 | 89.5% |
| H29 | 255 | 228 | 89.4% |
| H30 | 248 | 232 | 93.5% |
| R01 | 266 | 248 | 93.2% |







満足度調査集計結果について

R01年度の特記事項としては、動線上に自動販売機を追加設置し、学内全ての自動販売機の料金改定(値下げ)および種類を増やしたことにより自動販売機設置への満足度に一定の効果が表れたことが確認できる。また、R01年度は体育館の耐震工事のため、年間を通して体育館を使用することができず、これにより体育館等スポーツ関連施設への不満や利用したことがない層の増加に繋がったと推察できる。

本学では、学科学年ごとに正担任1名・副担任1名が授業の履修から就職支援まで、大学生活全般にわたって学生からの相談等に対応しており、これまでその満足度は「十分満足～普通」までを含めると約90%と一定の高い満足度を得られていたが、R01年度は更に上昇し約97%の満足度を得る結果となった。

食堂に関しては、H29年度に満足度が下がり不満が大きくなっている。これは事業者の入れ替えに伴いメニュー等の変更があったためと推察されるが、H30年度以降には改善されたことが確認できる。

学園祭、体育祭については、参加していない層が年々増加傾向にあり、また、課外活動においても、体育系・文化系いずれにも所属していない層が増加傾向にある。学園祭、体育祭などの学内イベントや課外活動に学生が参加しやすい環境を提供する取り組みが必要である。

学生の進路指導への満足度は上昇傾向で、十分満足・満足と回答した学生が増加している。また、自分の進路についても十分満足・満足の層が増加している。

卒業研究・卒業制作担当教員への不満・やや不満は増加傾向で推移していたが、H30年度には大きく改善されたことが確認できる。また、卒業研究・卒業制作の成果に対する満足度も改善傾向にある。

本満足度調査の回答率はH30年度に90%を超えた。これは、担任、卒業研究・卒業制作担当教員をはじめとし、大学全体で取り組んだ成果と言える。

今後、4年間の大学生活全般に対する満足度をさらに向上させるため、施設設備の整備はもとより、学生に接する教職員には、常日頃からきめ細やかな配慮と対応を心掛けるよう求めていく。

(学務部長 阿波 稔)